

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスヒーローズ蕨教室			
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ～ 2025年11月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年11月4日 ～ 2025年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の特性を十分に理解し、専門性のある支援を提供できている点	静かな活動と動的な活動の場所を分け、床にマットを敷いてくつろげる空間を作っている	ゴミ袋の保管場所を変更し、清潔感をより向上させるための環境整備を行う

2	学校（放課後児童クラブ等）や家庭との連携が取れており、日頃から子供の状況を伝え合っている	カーテンを設置することで、必要に応じて個別支援のための空間を仕切れるようにした。	古くなった床や壁の修繕について、今後業者を入れて改善を進める予定である
3	公式LINE（オフィシャルライン）を活用し、防犯訓練などの情報を定期的に発信している	保護者の負担を考慮し、保護者会の開催については慎重に検討しつつ、個別の相談対応を優先している。	保護者会などのニーズについて、アンケート等を通じて改めて意向を確認し、開催を検討していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間の清潔感や心地よさにおいて、改善の余地があると感じている職員がいる	ゴミ回収が週1回であるため、玄関付近のゴミ袋が潔癖傾向のある児童に心理的な負担を与えている	日々の掃除をさらに徹底し、清潔な環境を維持するためのマニュアル化や役割分担を見直す
2	音の遮断が構造的に難しく、環境上の配慮に限界がある	学校卒業後の進路支援など、次の段階への移行支援に対する取り組みが、一部の職員から不十分と見なされている	学校への移行をよりスムーズにするため、短期・長期目標の共有を強化する

3	保護者同士や、きょうだい同士が交流する機会が十分に設けられていない	他施設（他事業所）の子供たちとの交流の必要性について、検討の余地がある	他事業所との職員トレード（交流）を行い、互いの支援の様子を学び合う機会を作る
---	-----------------------------------	-------------------------------------	--